



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT
2560

国際ロータリー第 2560 地区

月信

2015-2016
最終号
Vol.13

夢 (gift) を



明日へつなげよう。



01



生涯の記憶遺産となりました。

2015-16 年度国際ロータリー 第 2560 地区ガバナー 山本和則

初めに、2560 地区各クラブ会員の皆様、地区役員、地区委員会の方々、そしてパストガバナーの諸先輩に心からの御礼と感謝を申し上げます。ガバナーを拝命し、ノミネー、エレクトを含め3年間、無我夢中で務めてまいりました。今、皆様から頂いたものに比して、お返しできるものの少なさに恥じ入る思いです。

ポール・ハリスが最初に描いたロータリーのデザインは、その後会員の拡大に伴い、クラブ、地域、国を越えて広がるに連れて変化してきました。創立 111 年目の今日、ロータリーはポールの想像を超えて進化し、その結果巨大な組織体となっています。私たち会員は、その組織体の一員であったとしても、組織全体を見渡すことの出来る人は、多分わずかであろうと思います。RIが発信する膨大な情報、ロータリージャパン、地区からのお知らせなど、それぞれに目を通すことは殆んど不可能に近いと思います。ガバナー事務所と致しまして、出来得る限りの情報の収集に努め、それを地区の会員の皆様にお伝えすることを目指して参りましたが、結果はどうであったでしょうか。

公式訪問では、ほぼ全てのクラブを個別に訪問し、会員の皆様の真摯な態度に触れながら、楽しくお話をさせていただきました。会長・幹事さんとの懇談会、例会、クラブ協議会と、各クラブから学ぶことが多く、本当に実りある貴重な体験であり、一つ

ひとつの公式訪問が生涯の記憶遺産となりました。地区行事の集大成である地区大会は、県都新潟・朱鷺メッセにて開催し、多くの会員にご参加して頂き、充実した大会となりました。ソウル国際大会は 150 余名という海外開催では過去最多のご参加を頂き、初めての 2560 地区ナイトも開催すること



が出来ました。韓国で活躍している元米山奨学生のサプライズ参加も嬉しかったことです。また、各クラブは、精神的に奉仕活動に専念され、国内外での社会奉仕活動、国際人材育成の青少年交換プログラム、財団・米山プログラム、補助金プロジェクトなど、数多くの奉仕活動に取り組み、ロータリーを実践していただきましたことに、厚く御礼申し上げます。たくさんの gift が地域に、世界に届いたと確信しております。

結びに、皆様から頂きましたご厚情ご協力に、深く深く感謝を申し上げ、ガバナーの務めを終えさせていただきます。本当に有難うございました。合掌。

102 各分区ガバナー補佐 報告

第1分区



会員増強、各財団寄付の目標達成

2015～2016年度国際ロータリー第2560地区 第1分区カバナー補佐 桐生 利秋（中条RC）



2015～16年度 山本和則ガバナーのテーマ『夢 (Gift) を明日へつなげよう』の方針の下、一年を終えようとしております。各ロータリークラブ各位にまず敬意と感謝を申し上げます。誠に有難うございました。又、4回開催した会長・幹事会はお互いにクラブの活動報告・情報交換をし各クラブの活動の理解と参考になりました。6月4日最終会議を一泊で開催し、一年間の各クラブ活動の成果の報告を頂いて終えました。ガバナー公式訪問及びクラブ訪問時にはそれぞれ

の「地域性」「歴史」「独自性」と多様な報告がなされ自身も多くを学ばせて頂きました。地区の活動も会員皆様からご協力を頂きました。分区全体での会員増強・各財団寄付金は今年度の目標を達成いたしました。地区大会参加・世界大会参加・IM参加・それぞれの会合・広報ロータリー公共イメージ補助金活用とご協力とご参加頂いたロータリアン全ての皆様に、心深なる感謝と御礼を申し上げます。一年間有難うございました。



第2分区



素晴らしい機会に感謝

第2分区カバナー補佐 高橋 英樹（新潟東RC）



ガバナー補佐として1年間第2分区を担当させていただきました。山本ガバナーのもと、地区事務所の皆様そして地区委員の皆様にはお世話になりました。第2分区9クラブの例会に出席して、各クラブの個性ある運営を確認しガバナーに伝えることをこころがけました。クラブの情報が地区の運営方針の一つになれば幸いです。ガバナー公式訪問で、佐渡の2クラブにジェットフォイルでガバナー・地区幹事の皆様と同行し、

宿泊しながら地区運営の話もできるいい機会もいただきました。ガバナー補佐の役割は地区の実情・個別情報をガバナーに伝え、より良いクラブ運営が出来るように支援することと思行動してまいりました。1年間充分な行動ができなかったと反省をしながら、素晴らしい機会を与えていただいたことを感謝いたします。ありがとうございました。



第3分区



第3分区ガバナー補佐をお引受け致した1年をかえりみて

第3分区カバナー補佐 五十嵐 文平（阿賀野川ラインRC）



第3分区のガバナー補佐をお引受けは致しましたが、クラブ在籍が長いだけで、ロータリークラブに対する学習などは、全然して居りませんでしたので、不安なスタートでした。

初めての地区運営会議で、山本ガバナーの地区に対する方針等の説明を受け、スタッフの皆様の支援体制をお聞きし安心を致しました。

IMも会員の皆様の、連日に渡る支援を頂きまして、開催が出来ました。

17年前の話です。第3分区内に、新クラブ設立の案が設定されて、五泉RCをスポンサークラブとして、津川町、安田地区を中核とし、

1998年12月に阿賀野川ラインRCが発足を致しました。

第3分区の中で、会員数の減少率の最も少ない白根RCでも、会員数は50名を超えていません。

本年度より新しい時代に向けてのRIの規約の改正等が実施されるようですが、日本的な独自の方策が無いでしょうか。

組織を育てていくことの難しさを痛切に思い知らされました。山本ガバナー様、スタッフの皆様、有難う御座いました。



第4分區



「はきものをそろえる」講演会 大好評

第4分區 カバナー補佐 鳥部 文雄 (燕RC)



今、最後のクラブ訪問をしながら、ようやくガバナー補佐の任から解放されると実感しております。長かったようで短く、短かったようで長い一年でした。はたして会員増強等のガバナーの思いを十分に各クラブに伝え、達成することはできたのかとの思いはあります。ただ、他クラブへの訪問は有意義でした。私自身は、過去、他クラブへ行くことはほとんどありませんでした。今回、他クラブを訪問することで、工夫をこらした様々な例会運営をみることができ、大変勉強になりました。

ホームクラブの運営に少しでも役立てることができればと思っています。IMの開催はクラブメンバー全員の協力で行うイベントであり、主催クラブの底力を試される機会でもあります。燕クラブが提唱しております「はきものをそろえる」をテーマに、講師に藤本光世様をお迎えして開催いたしました。大好評でその記念講演を「ロータリーの友」5月号に掲載していただきました。大変ありがたく思っております。

最後に協力していただいたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。



第5分區



7年に1回のチャンスにあたって

第5分區 カバナー補佐 澁岡 久一 (柏崎RC)



第5分區的クラブ数は7クラブありますので、各クラブに7年に1回ガバナー補佐を選出しなければならぬ順番が回ってまいります。7年に1回のチャンスは、各クラブがIMを開催することで、クラブに新しい活力を与えるチャンスを作ってくれます。そしてガバナー補佐には、分区内クラブのガバナー公式訪問への同行や数回の訪問

を通して、各クラブの例会運営を勉強する貴重な経験を与えてもらえます。入会して23年、ロータリークラブは、まず例会に出席することがすべてだということを7年に1回のチャンスにあたって、再認識する1年となりました。第5分區の各クラブの会長、幹事さん、会員の皆様、一年間お世話になりました。



第6分區



多大なご協力に感謝

第6分區 カバナー補佐 伏見 勝 (津南RC)



ガバナー補佐の順番が当クラブになり、私も創立会員で、70歳過ぎ、最後の奉公として、第6分區と津南ロータリークラブに少しでも貢献できればという思いで引き受けました。

山本ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会に始まり、各委員会、地区大会、第6分區的の山本ガバナー公式訪問、分区内の事前訪問などを通

じて勉強をさせていただきました。1年間、私なりに努力をして、第6分區ロータリアン、当クラブのロータリアンに多大なご協力をいただきIM、公式訪問を無事終えて、ガバナー補佐の任務を終了したことに感謝申し上げ、御礼の言葉とします。



第7分區



1年を振り返って

第7分區 カバナー補佐 小林 正夫 (直江津RC)



第2560地区ガバナー山本和則様及び地区事務局スタッフの皆様、一年以上にわたりご尽力いただきありがとうございます。大変ご苦労さまでした。

山本年度は、RI、地区、分區、各地ロータリークラブの役割について、早めに年間スケジュール、地区運営方針を分かり易く示され、ロータリークラブの役割が認識しやすかったと思います。

しかし取返せば、新年度についてPETS・地区研修協議会を経て伝達される「ガバナーの

地区運営方針」が各クラブの準備になかなか反映されません。各クラブの足並みができるだけ揃うように腐心しましたが、中間に位置するガバナー補佐の力量不足と不徳の致すところで申し訳なく思っております。ロータリークラブ毎に新年度への取組み時期が異なり、特に少人数のクラブでは、本年度事業を推進しながら、新年度の運営を準備することが難しい面があることに、ガバナー補佐として助言等の役割が果たせなかったことはお詫び申し上げます。

最後になりますが、新年度の地区運営と各地ロータリークラブの活動が発展されるようご祈念申し上げます。





103 委員会活動報告



クラブ奉仕委員会報告

クラブ奉仕委員会委員長 片野 勉 (新潟西RC)



<会員増強について>

当委員会の最大の使命は「会員増強」と理解して、7月に会員増強セミナーを「会員増強に関する戦略を作る」というテーマで、RI第1~3ゾーンの地域別会員増強プロジェクトリーダー補佐の鈴木隆志氏(東京西RC)を講師にお迎えして開催しました。今迄とは少し趣を変えて全員参加型とし、各クラブを会員数順に7つのテーブルに分けて会員同士がディスカッションをしながら意見を出し合い、纏めていく方法です。各クラブの会員増強委員の活発な議論で大いに盛り上がったセミナーでした。全員で増強に取り組んで

きましたが、ガバナー目標の「純増5%」のハードルは高く、残念ながら5月末現在で2.06%が心残りです。しかし、2560地区では、2014年からは会員数は増加に転じています。

<国際大会について>

隣国のソウル開催でもあり、ガバナー目標の300人に対して、参加者は153人と50%を上回る事ができました。参加の皆様にご感謝いたします。



1年を振り返って

職業奉仕委員会委員長 渡邊 嘉子 (新潟中央RC)



地区職業奉仕委員長として職業奉仕の考え方や意味をロータリアンの皆様に伝えられたのか、考えてもらえたのかと不安が残っておりますが、今1年間が終わりホッとしているというのが正直な気持ちです。

今期は山本ガバナーの意向により『四つのテストを念頭において行動しよう』という事で「四つのテスト」のカードを全会員に配布し、毎月1回は例会で「四つのテスト」の歌をうたう事を提案致しました。これらは形式的な事かもしれませんが、「四つのテスト」を通じて職業実践面において人として具体的にどのような行動をとるべきか各自考えていただける機会となったのではないかと思います。

います。世間には職業倫理のないニュースが流れているのが現実ではありますが、ロータリアンは「四つのテスト」を念頭においてロータリーパッチに恥じない様に行動しなければならないと改めて思います。

最後になりましたが、山本ガバナーをはじめ皆様の暖かいご支援によりまして何とか無事に終了することができました。また、この地区職業奉仕委員長という機会を与え参加させて頂いたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



多数のご応募ありがとうございました

社会奉仕委員会委員長 海津 正男 (白根RC)



●ロータリー公共イメージの向上

社会奉仕活動地区補助金を募集しましたところ、各クラブで、下記の事業が開催されました。ロータリーのイメージ向上を図ることに大いに貢献したと思います。その外にも補助金に応募されなくて、社会奉仕活動を実践されたクラブもおありのことと思います。各クラブのみな様に対し、畏敬と感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。みな様の社会奉仕活動で地域の方々に喜んで頂くことによってロータリーの存在を知って頂く。このことによって、みなさんお悩みの会員増強、クラブの活性化など、全ての活動に好

循環がもたらされると思います。これからもよろしくお願い致します。

●子ども虐待防止(オレンジリボン運動)の啓発、普及

「子ども虐待防止(オレンジリボン運動)の啓発、普及」につきましては思うような成果が上がりませんでした。研修セミナー開催を試みましたが、日程の関係で断念致しました。そこで、せめてこの事業の意義を知って頂きたく、パンフレットを配布させて頂きました。毎日のように、目を覆う、耳を塞ぎたくないような、子ども虐待事件が報道されています。これからも、この深刻な事実を認識して頂ければ幸いです。

<社会奉仕活動地区補助金>

	ロータリークラブ名	応募の種類	事業及び活動の名称
1	分水RC	クラブ単独	野外ライブ「ライブ インくがみ」
2	三条市内RC(三条・三条南・三条北・三条東)	クラブ共同開催	三条市内4ロータリークラブ合同公開例会 蓮池薫氏講演会「拉致と決断 あの日の決断から始まったー」
3	新発田城南RC	クラブ単独	新発田城市民清掃隊への協賛
4	頸北RC	クラブ単独	市民参加型健康料理研究会
5	長岡市内RC(長岡・長岡東・栃尾・長岡西)	クラブ共同開催	来季から、長岡市はアルビBBのホームタウンです!!『みんなでアルビBBを応援しよう!!』
6	中条RC	クラブ単独	胎内スマイルカップ小学生女子バレーボール交流大会の協賛
7	村上RC	クラブ単独	村上地域のみなさんと駅前広場の整備
8	白根RC	クラブ単独	白根ロータリークラブ「ボランティア賞」の創設
9	小千谷RC	クラブ単独	小千谷西山山系新緑ハイキング
10	豊栄RC	クラブ単独	福島潟クリーン作戦参加
	クラブ単独	8	
	クラブ共同開催	8	4RC×2
	29%	16	RCの参加



国際奉仕委員会 2015-16年度の活動

国際奉仕委員会委員長 高橋 優子 (新潟万代 RC)



国際奉仕委員会は高橋(新潟万代 RC) 大澤(新潟西 RC) 木村(柏崎中央 RC) の各委員と大塚副幹事(新潟南 RC) の4名で楽しく活発に活動させていただきました。

1. 国際フォーラム…2015年8月2日 参加者 73名

- ①今年度の国際奉仕活動について 国際奉仕委員長/高橋 優子
- ②グローバル補助金を使った事例説明
「ボリビアにおける寄生虫感染の実態と駆虫薬投与」
新潟南 RC / 斎藤 秀明
「タイ国 大型人工透析器設置事業」新発田 RC / 石井 政治
- ③My Rotaryの利用法 国際奉仕委員/大澤 力

2. グローバル補助金プロジェクト

タイ第 3340 地区、ハワイ第 5000 地区、新潟第 2560 地区の計 22 クラブが参加し約 11 万ドルを集めタイ農村部に人工透析器 7 台等を贈るプロジェクトを行い、当地区からは新潟万代、新潟南、新潟中央、三条、三条南の 5 クラブが参加しました。

3. 2016年4月7日オランダ第 1550 地区 Rotary Club Midden Betuwe Valburg から 8 名が来県。第 2560 地区のロータリアンと親交を深めました。

4. 国際奉仕委員全員でソウル国際大会に参加しました。

以上、ご報告申し上げます。



青少年奉仕委員会 活動を終えて

青少年奉仕委員会委員長 原 信博 (長岡東 RC)



青少年奉仕委員会は 3 つの委員会の充実の活動の連続で一年間を過ごさせていただきました。

ライラ委員会では、第 15 回ライラ研修は平成 27 年 10 月 24、25 日で新潟薬科大学を会場に新津中央ロータリークラブをホストクラブとして行われました。

インターアクト委員会では、柏崎東ロータリークラブをホストクラブとした年次大会、台湾研修を行いました。高校生のインターアクターに他者を助け、他者を尊重すること、個人の責任と懸命に努力することの価値、国際理解と親善を推進することを学んでいただきました。

ローターアクト委員会では、新潟南ローターアクトクラブ選出の伊比浩太郎地区代表のもと、地区ターゲットを「喜怒哀楽」として、9月のアクトの日は社会奉仕活動でいくとびあ食花で小学生に絵をかいてもらう事業、11月に新潟大学でアクトによる職業講演、2月13日の地区大会では NGT48 の今村悦郎さんの講演、3月19日の全国研修会で APRRC (国際交流) を体験、と熱のこもった活動を展開していただきました。

活動を通して、若い人達の成長が間近でみれました。3つの小委員会が協力し合いながら事業を終えるごとに関わったロータリアン同志の心の距離が縮まっていきました。私自身が感動の体験をすることができましたことに感謝の意を述べさせていただきます。本当に一年間ありがとうございました。





103 委員会活動報告



青少年交換プログラムに想いをよせて

青少年交換委員会委員長 横山 亘 (高田東RC)



思い起こせば、地区に出向し5年が経ちました。何もわからず青少年交換委員会に参加しましたが、事業に取組むうちそのプログラムの意義や目的の素晴らしさを感じ、大変貴重な経験をさせて頂きました。その想いを込め、この1年は地区の委員長として最後の総まとめの年にする覚悟で取り組んで参りました。ロータリーは1年単位と言われておりますが、青少年交換事業は、年度が複数年に渡りますので事業も多く、息をつく間もないほどの忙しさを覚えております。また活動では大変多くの人に出会い、助けられ、励まされ、学生達の笑顔と成長を見る度に、その苦労も和らいだものになりました。ロータリーの精神のもと皆様のおかげで乗り越えられたと思っております。最後になりますが、今まで支えて下さいました地区役員、ロータリアン、青少年交換関係者の皆様、そして地区出向をお許し頂きました当クラブに、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



学びの多い素晴らしい事業

米山記念奨学委員会委員長 田中 雅史 (新潟南RC)



多くの皆様のご理解とご協力をいただき、委員会活動を無事遂行できたことをまずもって感謝申し上げます。

日本国内に学ぶ有為の外国人留学生に奨学金を授与することで、その未来に希望の灯を点す米山記念奨学事業。身に染みるロータリー精神で母国と日本との懸け橋となり、世界平和に貢献する人材を育成するという高邁な事業理念は今でも健在です。奨学生をお世話する中で逆に私達ロータリアンが学ぶことも多々あり、その気づきで自らの襟を正すこともできる素晴らしい事業でもあります。

本年度当地区で預かりした米山奨学生は21名。この人数では地区内56のクラブ数に遠く及ばず、奨学生と接することなく一年間過ごすメンバーも多いと聞いております。一人当寄付額に応じて奨学生の割当数が決まるのですから、より多くの寄付金を集めることがより多くの奨学生を当地区に迎え入れることにつながります。引き続き皆様方の絶大なご支援をお願い申し上げ、この一年のご報告とさせていただきます。



山本年度におけるロータリー財団委員会活動

ロータリー地区財団委員会委員長 渡辺 敏彦 (新潟南RC)



山本年度は「未来の夢計画=新補助金システム」の3年目にあたる年であり、その趣旨と仕組みを普及させることを目的に、次の4項目を中心に活動を行いました。

1. ロータリー財団の意義の普及
2. ロータリー財団補助金の有効活用
3. ロータリー財団の寄付増進
4. ロータリーカードの加入促進

機会としては、まず地区のPETS (2015年2月)、地区研修・協議会の分科会 (2015年5月)、地区大会第1日目のロータリー財団の講演 (2015年10月) が実施されました。また、委員会としては、2015年8月と2016年2月に全クラブを対象にロータリー財団セミナーを実施致しました。

4年間の地区財団委員長としての役割のなかで、新補助金システムの目的

の一つである、「地区により多くの権限と責任を」に重きを置き、当地区内で財団の活動について理解を深めるべく努力して参りました。

多少の土台は出来たのではと思いますので、次年度からの佐々木委員長のリーダーシップのもと、更なる発展を期待したいと思います。





2015-16 年度 会員数及び出席報告

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			2015年 7月1日現在	2016年 6月末日現在	女性	増減
第1分区 (9クラブ)		87.40	355	372	38	17
新 発 田	42	96.56	92	97	0	5
村 上	45	86.83	35	36	8	1
水 原	45	82.17	23	25	1	2
中 条	43	91.13	33	35	3	2
新 発 田 城 南	49	88.05	41	40	5	-1
豊 栄	48	88.52	26	27	3	1
新 発 田 中 央	47	82.96	48	50	5	2
中 条 胎 内	44	86.54	30	32	6	2
村 上 岩 船	39	83.85	27	30	7	3
第2分区 (9クラブ)		84.24	450	442	19	-8
新 潟	47	86.14	93	92	0	-1
新 潟 東	46	87.35	64	63	8	-1
新 潟 南	48	88.42	95	97	0	2
佐 渡	50	83.14	7	7	0	0
新 潟 西	44	86.13	39	37	1	-2
佐 渡 南	45	91.43	44	41	4	-3
新 潟 北	43	72.30	45	44	0	-1
新 潟 中 央	44	80.76	26	25	0	-1
新 潟 万 代	43	82.50	37	36	6	-1
第3分区 (6クラブ)		78.86	130	132	8	2
新 津	46	72.43	20	20	0	0
村 松	49	94.88	10	10	0	0
五 泉	44	81.77	17	18	3	1
白 根	49	79.56	44	42	3	-2
新 津 中 央	47	76.37	28	31	1	3
阿賀野川ライン	45	68.15	11	11	1	0
第4分区 (11クラブ)		77.70	358	362	23	4
三 条	46	85.62	51	55	0	4
燕	46	63.89	33	33	1	0
加 茂	45	84.17	29	28	4	-1
三 条 南	41	90.20	49	51	2	2
分 水	42	75.95	32	32	3	0
見 附	44	73.00	19	20	1	1
吉 田	47	83.41	32	32	2	0
三 条 北	46	82.08	63	65	3	2

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			2015年 7月1日現在	2016年 6月末日現在	女性	増減
巻	48	80.00	9	9	0	0
田 上 あ じ さ い	46	56.74	7	6	1	-1
三 条 東	46	79.84	34	31	6	-3
第5分区 (7クラブ)		86.81	310	320	29	10
長 岡	43	84.76	40	43	2	3
柏 崎	44	81.74	46	45	0	-1
長 岡 東	43	88.62	67	69	8	2
柏 崎 東	41	91.04	54	54	5	0
栃 尾	45	86.17	21	21	0	0
長 岡 西	45	85.79	47	52	6	5
柏 崎 中 央	45	89.53	35	36	8	1
第6分区 (6クラブ)		82.70	154	156	10	2
十 日 町	43	97.09	31	34	2	3
小 千 谷	45	74.71	44	40	3	-4
雪 国 魚 沼	48	74.18	22	24	4	2
十 日 町 北	43	94.71	22	23	0	1
津 南	43	81.82	26	27	1	1
越 後 魚 沼	49	73.70	9	8	0	-1
第7分区 (8クラブ)		79.39	320	319	28	-1
高 田	47	98.76	62	60	0	-2
直 江 津	46	78.35	49	51	4	2
新 井	48	75.04	32	32	3	0
糸 魚 川	46	67.69	41	42	3	1
高 田 東	42	79.48	39	39	2	0
糸 魚 川 中 央	47	72.80	37	35	0	-2
頸 北	46	85.80	14	14	1	0
越 後 春 日 山	48	77.23	46	46	15	0

ク ラ ブ 数	56 クラブ
2015年7月1日 会員数	2,077 人
2016年6月末日 会員数	2,103 人
女 性 会 員 数	155 人
純 増 減 会 員 数	26 人
平 均 出 席 率	82.35 %

掲載記事に関するお問い合わせ (紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧ください。)

国際ロータリー第2560地区直前ガバナー事務所
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟1階
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail: k.yamamoto@rid2560niigata.jp
URL: http://www.rid2560niigata.jp